

在宅リハビリテーション検討会

～住み慣れた地域で、自分らしく暮らすために～

障害のある人が、加齢や病気の進行に伴い、医療的ケアを受けながら自立度の高い在宅生活を送るには、医療、介護、福祉分野の連携が重要となります。そのため、質の高い在宅療養生活を継続していくには、課題に対し、家族を含めた全般的な生活支援に着目しながら、本人の望む質の高い生活を継続するために何が必要か、同職種および多職種と一緒に検討しましょう。

日時／場所：10月20日（日）13:30～16:30 石川県リハビリテーションセンター（大研修室）
10月26日（土）13:30～16:30 小松市公会堂（1階 第1・第2会議室）
11月4日（月・振休）13:30～16:30 七尾産業福祉センター（2階 大ホール）
12月15日（日）13:30～16:30 のと里山空港（4階 41・42会議室）
12月21日（土）13:30～16:30 石川県リハビリテーションセンター（大研修室）

主催：石川県リハビリテーションセンター

対象：医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医療ソーシャルワーカー、看護師
介護支援専門員、相談支援専門員、市町職員、地域包括支援センター職員 等

● 内容 ●

グループワーク① 予後予測・支援目標の検討

グループワーク② 在宅生活継続のための対応策の検討

● 講師・事例紹介 ●

日時	10月20日（日）	10月26日（土）	11月4日（月・振休）	12月15日（日）	12月21日（土）
事例	ポリオ後遺症に 小脳梗塞を合併 70歳代 男性	筋ジストロフィー 50歳代 男性	筋萎縮性側索硬化症 70歳代 女性	筋ジストロフィー 50歳代 男性	難病 20歳代 男性
事例提示者	ソーシャルネット 「かがやき」 介護支援専門員 大居 美恵子 氏	相談支援センターたいよう 相談支援専門員 矢鋪 幸代 氏	中能登社協 居宅介護支援センター 介護支援専門員 山本 美栄子 氏	相談支援 キララ 相談支援専門員 田中 こず恵 氏	ケアセンター華 相談支援専門員 北川 仁美 氏
助言者および講師	<医師の立場から> 国立病院機構 医王病院 院長 駒井 清暢 氏 <MSWの立場から> 国立病院機構 医王病院 医療ソーシャルワーカー 中本 富美 氏	<医師の立場から> 国立病院機構 医王病院 統括診療部長 高橋 和也 氏 <MSWの立場から> 国立病院機構 医王病院 医療ソーシャルワーカー 中本 富美 氏	<医師の立場から> 国立病院機構 医王病院 院長 駒井 清暢 氏 <MSWの立場から> 金沢大学人間社会学域 地域創造学類 非常勤講師 馬渡 徳子 氏	<医師の立場から> 国立病院機構 医王病院 院長 駒井 清暢 氏 <MSWの立場から> 金沢大学人間社会学域 地域創造学類 非常勤講師 馬渡 徳子 氏	<医師の立場から> 国立病院機構 医王病院 院長 駒井 清暢 氏 <MSWの立場から> 金沢大学人間社会学域 地域創造学類 非常勤講師 馬渡 徳子 氏